



【濠端さくら】

鶴岡公園の桜は、明治39年に日露戦争の戦勝を記念して植えられたのが始まりである。現在、ソメイヨシノ始め、八重桜など約730本のさくらがある。

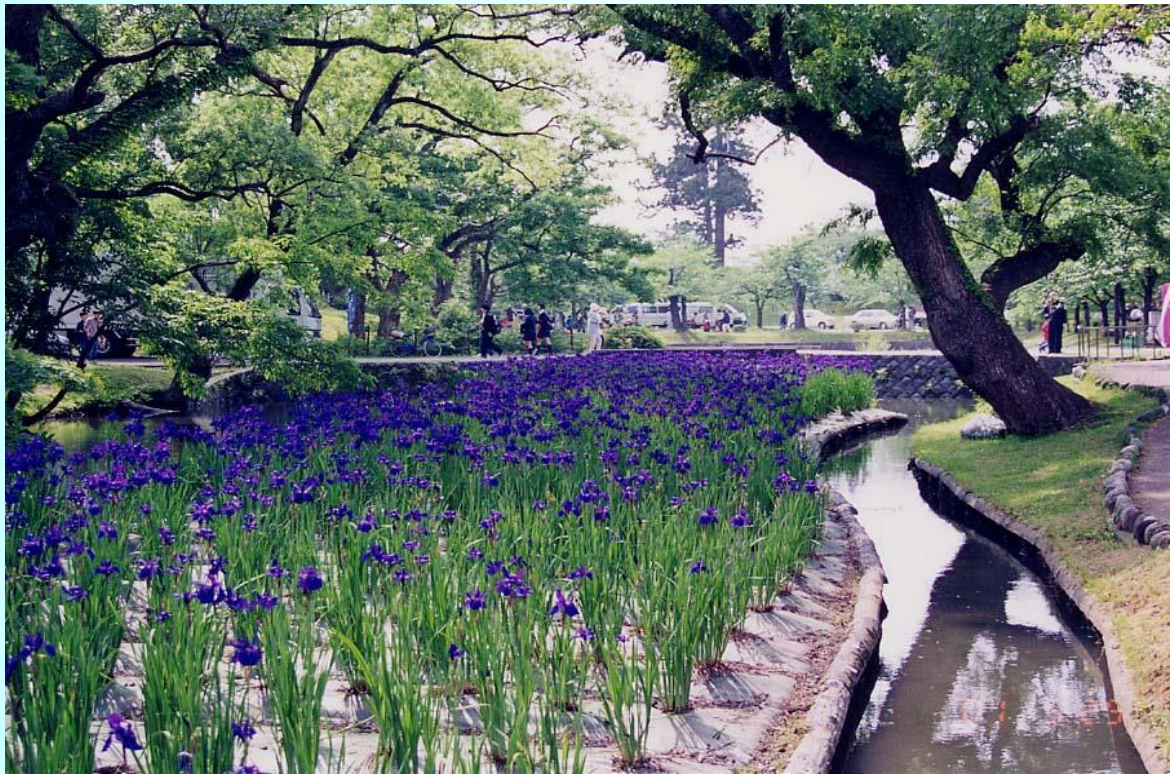
【市民の森】

市政50周年を記念して造成した市民の森には神樹、カリン、サンシュユ、ベニかえでなど92種類の樹木が植栽されている。



【疎林広場】

みどりの芝生がひろがり、青空の似合う憩いの地が疎林広場。
滝が流れる水場では親子連れが水遊びをする姿をよくみかける。



【ショウブ園】

ショウブ園には500株のアヤマメと1500株余りの花ショウブが植えられている。6月中下旬になると色とりどりのショウブの花は実に美しい。



【藤沢周平記念館】

鶴岡市出身の時代小説家、藤沢周平の作品を深く味わえる拠点として、館内には数多くの作品の資料などが展示されている。

【荘内神社】

鶴ヶ岡城本丸跡地に創建された荘内神社。大晦日から元日かけての初詣、夏の荘内大祭、大名行列などゆかしい行事が多彩である。





【公園の紅葉】

秋になると
赤く、黄色く染めていく
桜、楓、イチョウ、ナンキンハゼ
などの紅葉風景が美しい。

【「雪の降るまちを」モニュメント】

名曲「雪の降るまちを」の発祥の
地であることをほこりとし、
記念モニュメントを設置した。
スイッチを押すとメロディーが
聴こえてくる。



【鶴岡タウンキャンパス】

昔、百間堀となっていたところに
慶応義塾大学先端生命
科学研究所が設立された。
同所内の図書館は致道ライブラリとして
市民に開放されている。

【大宝館】

大正4年に建設された擬洋風建築で
現在は人物資料館として
先人たちの業績、資料などを
展示している。

